



Japan. "Kampai" to the world.
Sake & Shochu

日本産酒類の輸出促進に 向けた取組みについて

平成27年3月

国 税 庁

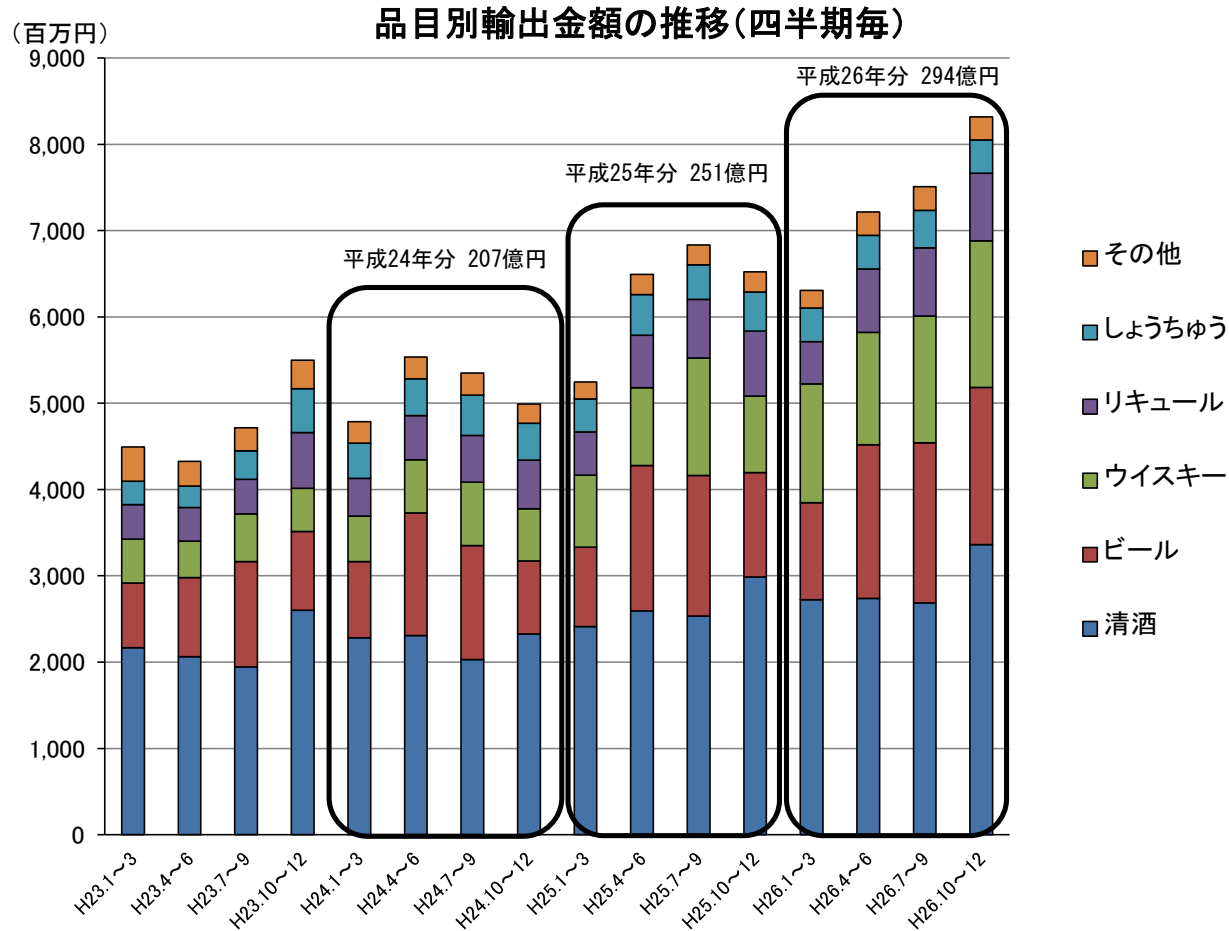
最近の日本産酒類の輸出動向について

平成27年3月現在

○ 平成26年の輸出金額は約294億円となり、年間の輸出金額として過去最高であった平成25年の約251億円を上回った。
 (輸出金額: 対前年比116.9%、輸出数量: 前年比113.7%)

(参考) 日本再興戦略(平成25年6月閣議決定)において、日本産酒類については、2020年までの輸出額の伸び率が農林水産物・食品の輸出額の伸び率を上回ることを目指している。平成24年から26年までの2年間の日本産酒類の輸出額の伸び率は、42.7%で、農林水産物・食品の伸び率(35.9%)を上回っている。

(単位:百万円)



品目	平成26年	平成26/25年比	平成25/24年比
清酒	11,507	109.3%	117.6%
ビール	6,584	120.8%	121.8%
ウイスキー	5,850	147.0%	160.7%
リキュール	2,797	109.9%	124.0%
しょうちゅう	1,601	93.8%	98.6%
その他	1,011	113.3%	91.3%
合計	29,351	116.9%	121.5%
【参考】数量の伸び率	—	113.7%	117.2%

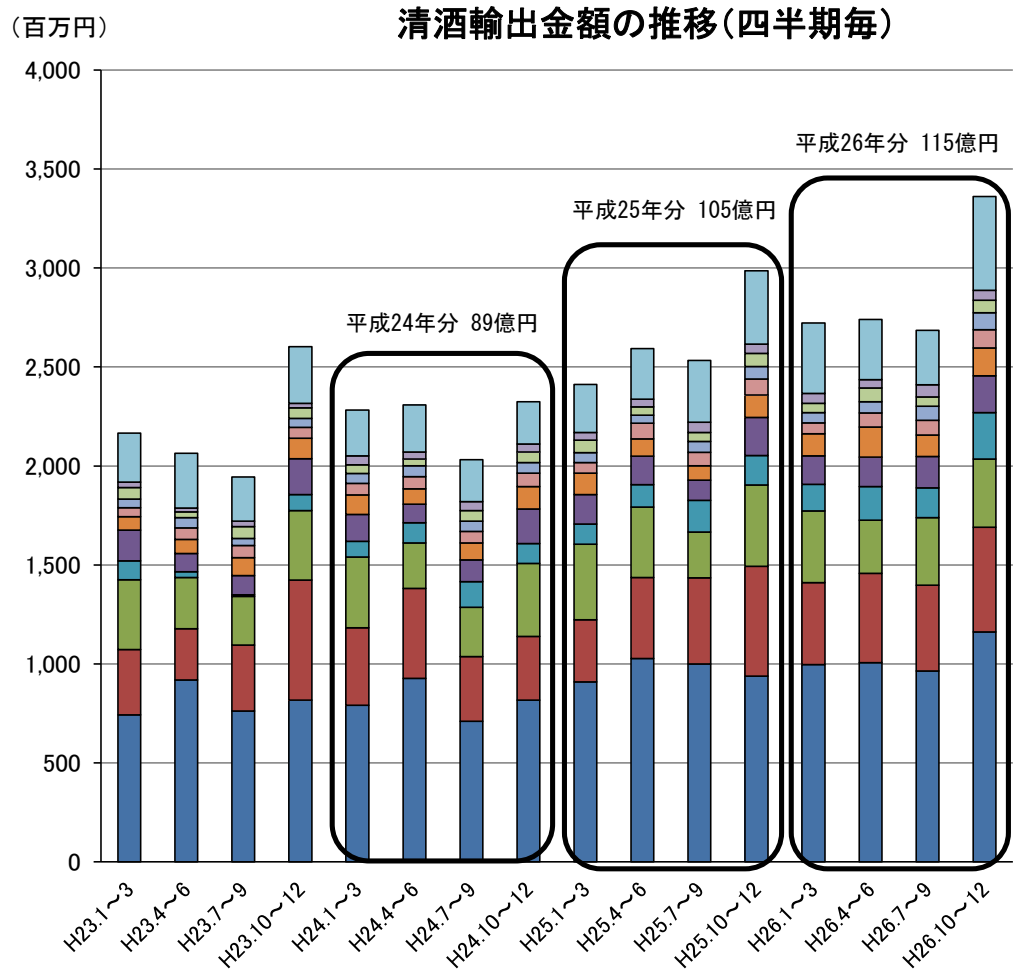
国(地域)名	平成26年	平成26/25年比	平成25/24年比
アメリカ合衆国	6,345	108.0%	126.9%
大韓民国	4,953	113.6%	122.5%
台湾	3,553	121.0%	125.2%
香港	3,102	109.8%	109.6%
シンガポール	1,772	131.6%	115.2%
フランス	1,648	142.2%	141.9%
中華人民共和国	1,623	116.0%	105.2%
英国	1,098	136.0%	141.5%
ロシア	1,055	133.7%	154.7%
オーストラリア	874	135.9%	118.4%
その他	3,328	112.6%	113.3%
合計	29,351	116.9%	121.5%

出典:財務省貿易統計

最近の清酒の輸出動向について

平成27年3月現在

○ 清酒の平成26年の輸出金額は、過去最高の115億円(対前年比109.3%)であり、酒類全体の輸出金額の約4割を占めている。



(単位:百万円)

国(地域)名	平成26年	平成26/25年比	平成25/24年比
アメリカ合衆国	4,128	106.6%	119.4%
香港	1,829	106.8%	114.5%
大韓民国	1,314	95.1%	114.8%
中華人民共和国	690	132.0%	127.0%
台湾	638	108.6%	114.5%
シンガポール	512	133.6%	102.3%
カナダ	290	103.7%	114.2%
オーストラリア	270	129.0%	97.6%
英国	240	110.6%	119.1%
タイ	187	106.0%	105.1%
その他	1,409	119.3%	132.2%
合計	11,507	109.3%	117.6%
【参考】数量の伸び率	—	100.7%	114.7%

(参考)

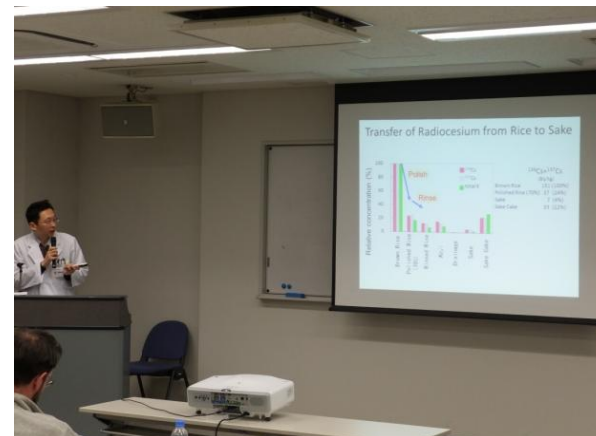
	平成16年	平成26年
輸出金額	105億円	294億円
清酒のウェイト	43%	39%

出典: 財務省貿易統計

日本産酒類の輸出環境整備に関する国税庁の最近の取組

1. 酒類の専門的知識等の普及・啓発

- 海外の酒類教育機関の日本酒講座に対する支援（(独)酒類総合研究所において日本酒プログラムを実施；平成26年12月）
- 在日外交官等に対して日本酒セミナー・酒蔵ツアー等を実施（平成26年1月～3月）
- 在外公館が実施する日本酒セミナー（醸造技術者、政府関係者、飲食業界関係者を対象）等への協力（平成25年5月～7月）
- 在京の各国大使を対象とした酒蔵ツアーを実施（平成26年9月）
- 在外公館へ赴任する大使等を対象とした日本酒に関する研修への協力
- 酒類鑑評会の結果を英文により公表
- (独)酒類総合研究所において、「日本酒ラベルの用語事典」（日本語版、外国語版）を作成



2. 各種イベント等への対応

- 各種国際会議等での日本産酒類の提供支援等
 - ・ ダボス会議ジャパンナイト（スイス；平成27年1月）に国税庁職員を派遣し、日本産酒類に関するPRを実施
- 主要国際空港における日本産酒類キャンペーンの後援（平成25年10月～）
- ブラジルW杯ジャパンプレゼンテーション（平成26年6月）に国税庁職員を派遣し、日本産酒類に関するPRを実施



3. 酒類業界への支援

- 酒類製造者等に対する輸出セミナーの開催
- 酒類製造者等に対する輸出支援情報の提供
- JETRO と共同で酒類製造者等向けの輸出ハンドブックを作成
(韓国編、中国編、香港編、台湾編、米国編を作成。)
- 酒類の業界団体等から構成される日本酒輸出協議会における輸出戦略の策定を支援

4. 貿易障壁の撤廃・緩和に向けた働きかけ

- 東日本大震災後に導入された輸入規制の解除へ向けた働きかけ
 - ・ 国税庁及び（独）酒類総合研究所が実施した酒類等の放射性物質に係る分析結果並びに（独）酒類総合研究所の研究結果を科学的な説得材料として活用し、外務省等と連携して各国に働きかけ
 - ⇒ EU：規制解除（24年10月）
 - ブラジル：福島県産を除く規制解除（24年12月）
 - マレーシア：規制解除（25年3月）
 - ロシア：6都県産酒類に対する輸入停止措置の解除（25年4月）
 - タイ：規制解除（26年11月）
 - ・ 今後も引き続き、輸入規制等の状況に応じ、関係府省との連携により、規制の解除・緩和に向けた働きかけを実施
- 米国、EUにおける蒸留酒の容量規制の見直しに向けた働きかけ

取組事例紹介①

- ✓ 駐日大使等に向けた酒蔵見学を実施。
- ✓ 日本酒の製造過程を紹介するほか、利き酒等を実施。



- ✓ 平成26年9月に東京都内の酒蔵で開催。
- ✓ 12カ国21名の大使等が参加。
- ✓ 発信力のある大使等に日本酒の知識や魅力を更に浸透させることが目的。



取組事例紹介②

✓ 日本酒を核とした産業連携による海外展開をテーマとして、「Sakeシンポジウム」を開催。



- ✓ 日本酒の輸出に先進的に取り組む蔵元等を講師として、講演・パネルディスカッションを実施。
- ✓ 酒類業者・行政機関の職員・マスコミなど約250名が参加。

